

2014年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	法学部	身分	教授
氏名	秋吉 貴雄		
NAME	Takao Akiyoshi		

1. 研究課題

(和文) わが国の行政組織における政策知識の学習過程に関する研究

(英文) A Study on the Policy Learning Process of Japanese Government

2. 研究期間

2年

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

公共政策学においては政策知識とその学習過程についての研究が進められてきたが、わが国においてはその理論的検討が不十分であった。そのような問題背景から、政策学習の理論動向について研究を行い、さらに、わが国の行政組織における政策学習の特性について検討を行うことを本研究の目的とした。本研究では、具体的には、政策学習理論に関する研究を中心に行った。政府組織における学習や政策ネットワークでの学習に関して考察を行い、行政組織での学習の構造に関して制度的要因に注目し、その影響を検討した。それとあわせて、政策知識について、政策アイデアや専門知に関する研究の知見や政策移転に関する研究の知見をもとに学習過程の検討を行い、政策知識の蓄積・習得・適用といった学習過程のモデル化の検討を行った。また、政策学習論と関連して、政策学習の対象となる公共政策の種類、とりわけ、個別政策領域の特性を規定する要因について、教育政策等の具体的政策をもとに研究を進めた。さらに、行政組織での学習の構造の実際について、専門家人材の養成という観点からの公務員研修についての研究を進めた。

以上の研究成果の一部については、日本教育政策学会及び日本公共政策学会で報告を行った。また、日本教育政策学会での報告については同学会の学会誌の特集論文として掲載された。日本公共政策学会での報告については学内紀要(法学新報)等への投稿を予定している。

(英文)

This study analyzed the learning process of policy knowledge in the governmental organization from the viewpoints of policy studies. First, we examined the policy learning theory, especially utilizing process of policy knowledge. Second, we analyzed the specificity of each policy area and the system of training of officials in the governmental organization.